

平成20年度学校目標設定報告書兼学校評価実施報告書（1）

領 域	学習指導
重点目標	基礎・基本の定着を図り，授業の工夫・改善に努め，「分かる授業」の確立を図る。
具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3年間を見通した指導方針のもとに年間指導計画等を作成し，個々の生徒の実態を踏まえた授業を展開する。</li> <li>② 授業公開を実施し，指導内容・指導方法の工夫・改善に努める。</li> <li>③ 授業時数の確保を図る。</li> </ul>
評価方法・指針	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教育ミニ集会の参加者を対象とした授業アンケートの集計結果</li> <li>② 職員による中学校訪問の記録の集約結果</li> <li>③ 授業公開を実施状況</li> <li>④ 校内研修会を実施状況</li> <li>⑤ 実施授業時数</li> </ul>
自己評価の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基礎・基本の定着を図るために，授業における指示や質問を明確にするとともに，説明はゆっくりと分かりやすく行った。そして，生徒一人一人の理解の状況を確認しながら授業を進めることができた。一方，授業において，じっくり考えたり，話し合いや発表など生徒が活動する場面を十分に設けることができなかった。また，教材や教具の効果的な活用についても十分とは言えず，授業の工夫・改善の観点では課題を残した。</li> <li>② 中学校の職員からは，「中学校で課題のあった生徒が頑張っている。」「生徒の面倒をよく見ている。」などの評価があり，学校全体としては，「分かる授業」を目指す取組が浸透していると判断する。</li> <li>③ 基礎・基本の定着を図る上で，教職員の授業力を向上させるために校内研修会を4回（9月22日，10月20日，11月4日，12月5日）開催し，全教職員が，合計9時間余りの大学の先生（鳥居深雪氏，下司昌一氏）による講義や演習を受講した。</li> <li>④ 授業の工夫・改善に資するために，校内授業公開（5月7日～9日，10月14日～17日），学区内の中学校職員対象の授業公開（10月15日・16日），教育ミニ集会参加者及び保護者対象の授業公開（11月5日）など，延べ8日間に渡り授業公開を行った。</li> <li>⑤ 体験活動を重視し，新たな行事等を設定したため，実施授業時数は，前年度とほとんど変わらなかった。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 校内授業公開の機会に，他教科の授業も含めて，できるだけ多くの授業をお互いに見るようにし，授業について気軽に意見交換ができる雰囲気醸成する。</li> <li>② 生徒による授業評価アンケートを実施する。</li> </ul>
学校関係者評価	<p>全体として，分かりやすい授業が行われており，生徒たちが，落ち着いて学習に取り組める雰囲気ができている。ただし，授業中に指名する生徒が偏らないような配慮や，「先生」として，ふさわしい言葉遣いが望まれる場面もあるので留意していただきたい。</p> <p>就職する生徒の多くにとって，高等学校は，最後の勉強の場となるので，人格を高めるための人間教育に結びつくような授業となるよう，一層の尽力を期待します。</p>

平成20年度学校目標設定報告書兼学校評価実施報告書（2）

領 域	生徒指導
重点目標	生徒指導の機能を学校教育活動全般に浸透させ、基本的生活習慣の確立を図る。
具 体 的 な 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 欠席・遅刻・早退の段階的な指導を実施し、生活習慣の確立に努める。</li> <li>② 定期的な頭髪・服装等の指導を実施し、規範意識を確立する。</li> <li>③ 学校と家庭との連絡を密にし、問題行動などを防止する。</li> </ul>
評 価 方 法 ・ 指 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の出席状況</li> <li>② 教育ミニ集会の参加者を対象とした授業アンケートの集計結果</li> <li>③ 職員による中学校訪問の記録の集約結果</li> <li>④ 生徒向けの講演会等の実施状況</li> <li>⑤ 生徒や保護者との個人面談の実施状況</li> <li>⑥ 頭髪・服装等の一斉指導の実施状況</li> </ul>
自 己 評 価 の 結 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校全体での組織的な指導により、欠席・遅刻・早退の数は前年度に比べて減少した。</li> <li>② 授業アンケートの結果によると「教科書など学習に必要なものを用意していた。」「挨拶ができていた。」などの項目で良い評価を得たが、服装・頭髪や授業中の態度については、それほど良い評価は得られなかった。</li> <li>③ 自己啓発指導重点校の指定を受けて3年が経過し、全学年の生徒が入学時から少人数指導など、きめ細かな指導を受けている。これにより学校の教育活動全般が、スムーズに行われるようになった。また、船橋市や市川市の多くの公立中学校の職員から「落ち着いた学校」として評価されるに至った。</li> <li>④ 薬物乱用防止教室（7月16日、船橋警察署）、生き方を考える特別授業第1部（11月19日、鳥居徹也氏）、同第2部（12月17日、井内清満氏）、DV予防セミナー（11月10日・2月16日、千葉県男女共同参画課）などの講演会を実施するとともに、ロングホームルームや学年集会では、担当教諭やスクールカウンセラーによる講話を数多く行った。</li> <li>⑤ 生徒面談週間（4月14日～18日、9月2日～8日、10日間）や保護者面談週間（6月16日～21日、11月17日～21日、11日間）を設定し、学級担任による個人面談を実施した。</li> <li>⑥ 頭髪服装等の一斉指導を15回（4月14日～16日、6月2日～4日、9月2日～4日、10月27日～29日、1月8日～13日）実施した。</li> </ul>
改 善 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 頭髪・服装等の指導については、その必要性等について保護者の理解を得て、家庭との連携のもとで組織的に行う。</li> <li>② 段階的な指導について、改めて校内の共通理解を図り、協力体制を強化するとともに組織的な運用を推進する。</li> </ul>
学 校 関 係 者 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 服装や頭髪など、生徒指導に係る学校の決まりを知らない保護者が意外に多い状況がある。家庭の協力を得るためには、学校として生徒指導の方針について、いろいろな場面で、保護者に周知する必要がある。</li> <li>② どの学校でも、基本的生活習慣に関して、学校の先生の指導に反発し、社会に出て初めてその必要性に気づく生徒が多い。そこで、卒業生や地域の社会人を招いての講演会や、地域でのインターンシップなどは、生徒指導の観点で有効であり、積極的に取り組んでいただきたい。また、部活動の先輩、後輩の人間関係の中で基本的生活習慣ができてくる場合もあるので、部活動における生活指導の機能も重視していただきたい。</li> </ul>